

- 1 趣 旨 絵本専門士による読み聞かせワークショップを導入し、絵本の世界観に思いを馳せ、その後の体験活動において、ものがたりの追体験を実際に行い、絵本の世界に入り込み、より身近に感じることで豊かな感情の醸成を図る。  
また、親子共通の体験を通して、親子の絆を深めるとともに、親子間・家族間の交流を図り、体験活動を活用した子育ての効果を実感できるようにする。
- 2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家
- 3 期 間 令和4年9月24日（土）～25日（日）
- 4 場 所 国立夜須高原青少年自然の家
- 5 参加者 25名（8家族）
- 6 講 師 絵本専門士 吉柳 佳代子 氏
- 7 活動様子 別紙参照
- 8 感 想
  - ①プログラムに関すること
    - ・外で絵本を読むことがないので、自然を感じながら絵本にふれあえてよかった。
    - ・パンケーキ作りの前にグリとグラの絵本で気持ちが高まった。
    - ・子供の大好きな絵本の内容を再現し、自分ではできない体験だった。
    - ・絵本の世界に入り込んでいる子供の目が輝いていた。
    - ・パンケーキ作りが楽しかった。
  - ②事業全体に関すること
    - ・各活動の説明もわかりやすく、また来たいと思える場所が増えた。
    - ・絵本を読む時間の大切さを改めて考えさせられた。
    - ・自然の中で子供たちの日常では見られない姿を発見できた。
    - ・スケジュールにゆとりがあり楽しめた。
- 9 成 果  
本事業を通して、感想にもあるように参加者は絵本の読み聞かせの重要性を再認識することができた。  
絵本の読み聞かせを通して、子供たちは徐々に絵本に集中するとともに、絵本の主人

公の体験を参加者自身が体験することで、自分自身が絵本の主人公のような気持ちになったのではないだろうか。具体的な活動として、「もりのかくれんぼ」という絵本を読んだ後には、森の中に隠れる生き物を探したり、「私のワンピース」を読んだ後には、ワンピースの型をくりぬいた用紙にワンピースの柄を当てはめ写真を撮ったり、「ぐりとぐら」を読んだ後に大きなパンケーキを作る等を行った。子供たちは、絵本の世界を実体験することで、目を輝かせ、とても楽しそうな表情をしており、子供たち一人ひとりの豊かな感情の醸成につなげることができた。

## 10 課 題

「私のワンピース」の柄を撮影する際に、野外炊飯場から高台にあるわんぱくやぐらまでをコースとして考えていたが、参加者の歩調と時間を考慮し、途中で引き返すこととした。そのため、人工物が多い箇所での散策となったこともあり、次回以降はもう少し自然が多い箇所をコースとして選定する必要がある。

また、パンケーキを作成する際に、蜂蜜等の甘い匂いに誘われてキイロスズメバチが寄ってくる場面が度々見られ、次回以降何かしらの対策を考えることが必要である。

さらに、現時点での野外炊飯で対応できる絵本の中に食べ物がパンケーキしかバリエーションがないため、野外炊飯で調理できる絵本のバリエーションを増やすことが必要である。



7-1. 絵本の読み聞かせ①「わたしのとっておき」



7-2. 自然散策



7-3. 絵本の読み聞かせ②



7-4. 絵本の読み聞かせ③



7-5. 野外炊飯（パンケーキ作り）

